

町会・自治会振興特別委員会 意見交換会 実施結果概要

本委員会では、町会・自治会における会員の高齢化、新規加入者減少、役員の担い手不足、各種団体との連携など、現状と課題を確認することを目的として、令和2年11月11日（水）に石原二丁目町会・本所一丁目町会・京一旭町会・八広六西町会の4町会の役員と、また、12月22日（火）に墨田区町会・自治会連合会の役員と意見交換会を実施した。概要は次のとおりである。

1 第1回意見交換会

- (1) 開会日時 令和2年11月11日（水）午後6時30分から午後7時55分まで
- (2) 出席者 町会役員 7人

【主な意見等】

町会への加入促進について

- ・高層マンションが続々と建設されているが、町会費の収入はむしろ減っている。
- ・町会費を確保しなければ町会運営が成り立たないので、マンションを建てる際に説明に来る事業者に対して、何としても町会への加入に協力してもらいたいとお願いしている。
- ・ワンルームマンションでは、個別にお願いしてもまず加入してもらえない。
- ・マンションのデベロッパーは町会への入会に協力すると言っていたのに、分譲した後でできた管理組合から町会への加入を反対されたことがある。
- ・ワンルームマンションのデベロッパーから、「1棟売りを考えていて、売った後のことまでは責任を負いかねる」と言われた。
- ・全体の加入率を上げるよりも、今はマンションに住んでいる人たちにどのようにして町会に加入してもらおうかを考える方が重要だと考えている。
- ・区で町会への加入を義務付けることはできないとしても、もう少し強く呼びかけてほしい。

マンション住民との関係について

- ・マンションに住んでいる人は、自分が町会に入っているかどうか分かっていないことがある。
- ・マンションに住んでいる人たちはほとんどがサラリーマンなので、町会の役員会などに参加しやすいよう土曜日に開いてみたり、いろいろ工夫をしている。
- ・一定規模以上のマンションに対しては、その住民の中から町会理事を選出するように通知しているが、会合に来てくれない。

町会会館について

- ・町会会館を新築するに当たり、不動産業者を通さず自分たちで契約や登記を行おうとしたが、専門家ではないので手順が分からず苦労した。
- ・今後の町会会館の維持費をどう捻出していくか、心配が尽きない。
- ・町会会館を貸し出してはどうかと考えているが、それができるのかどうかも分からない。区で何か方策があったら教えてほしい。
- ・町会会館を効率的に運営することについて、区から助言や情報提供をもらえるとうれしい。

他町会との連携について

- ・近隣町会とはしょっちゅう顔を合わせて話をしており、連合町会とも年に何回か意見交換会をしているが、具体的に何か共同で実施しているということはない。

災害時の対応について

- ・去年の台風のとき、町会として避難所の運営をしていたが、避難してくる人がルールを守ってくれず困ってしまった。

2 第2回意見交換会

(1) 開会日時 令和2年12月22日(火)午後6時30分から午後8時00分まで

(2) 出席者 墨田区町会・自治会連合会役員 3人

【主な意見等】

町会への加入促進について

- ・新しい住民が町会に入ってくれない。町内の世帯数は増えているのに、町会員は増えていない。
- ・「町会に入って何のメリットがあるのか」と言われることが多々あり、町会は子どものことや高齢者のこと、地域福祉のことなど何でもやっていると説明するが、そういう人はまず加入してくれない。
- ・マンションを建てたら丸ごと別の会社に売ってしまうことが多く、「売った後は分からない」と言われた。
- ・マンションとしての一括加入については、入居者が入る前からきちんと決めておかないと、後から変更することは難しい。
- ・マンション建設の際に行う事業者との話合いの内容が、マンションの重要説明事項として扱われるような仕組みを構築していくべき。
- ・入会をお願いしようにもオートロックで中に入ることできないので、マンションの管理会社などに周知していただくようお願いしている。
- ・オートロックのマンションは、出来上がってしまうと我々にはどうにもならない。区は、どういう方法で販売して、管理会社はどこになるのかなど聞いておいてほしい。
- ・町内に新しいお店ができたなら町会への加入をお願いに行くが、最近はチェーン店であることが多く、そのお店の店長では話にならず、結局、入会されず会費も払われないことが多い。

マンション住民との関係について

- ・マンション住民と町会との接点が全然ない。
- ・オートロックのマンションは郵便受けに名前も掲げられていないことが多く、誰が住んでいるのか全く分からない。
- ・マンションの管理組合の誰かを、窓口として町会の役員をしてもらうことはできないか。
- ・70歳以上の高齢者が歳末警戒をやっている。マンションに住んでいる若い人たちにも協力してほしいが、町会との接点や交流が少なく、お願いするのも難しい。
- ・ファミリー世帯が入っているマンションに対しては話がしやすいが、町会と全く関

わりがないワンルームマンションなどについて今後どうしていくかが課題だと思っている。

- ・町会とマンションとで維持管理協定書を交わしている。お互いのハンコが押してある書面なので、いざというときにとても効果がある。
- ・維持管理協定書のひな形を用意して、名前だけ入れれば使えるようにすれば有効かも知れない。集合住宅条例の施行規則の周知が不足、この制度が活用されていないことについては何らかの対策が必要だと感じる。
- ・「マンションは人付き合いがないから気楽で良い」という考え方もあるが、これからの社会を考えた場合、感染症の問題、防災の問題、高齢化の問題などに対して、マンション内におけるコミュニティ、更にマンションと地域をつなぐコミュニティをどう形成していくかが重要な課題だと思う。

会議等について

- ・サラリーマンでも参加できるように、町会の会議は日曜の夜などに開くようにしている。
- ・消防署、警察署、ほかの関連団体との会議はほとんど昼間なので、若い人たちは参加できない。これが町会役員の成り手不足の一因になっているのではないかと思う。平日なら夜間、あるいは土日に開催することを考えてほしい。

コロナ禍における町会活動について

- ・特に何もやっていない。何かやろうとしても、感染したらどうするんだ、責任を負えるのかと反対されてしまうので、今年は総会も新年会も中止にした。

今後の町会活動について

- ・町会は福祉についても積極的に取り組んでいかななくてはならないが、行政の協力がなければ到底できない。
- ・高齢者が増えていく一方、若い人も増えている状況なので、町会の在り方を見直していきたいと考えている。
- ・町会の在り方を振り返り、抱えている事業をいかに効率良く回せるようにしていくかという、いわば出口の発想も重要だと思う。
- ・ICT化については専門的に詳しい人がいないと、町会だけで進めるのは難しい。